

11/6

愛は忍耐強い。使徒パウロがクリスチャンの愛の特徴を並べたリストで、一番に挙げられているのは、「忍耐強い」である。これは逆境を穏やかに忍耐する能力——長蛇の列で順番を待たされるときや、気難しい人々やいろいろな問題に対応するときに、短気を起こしたり腹を立てたりしない能力である。パウロによる忍耐の強調は、現代の価値観や慣習に反するものであるため、しばしば、わたしを信じる者たちから見落とされてしまっている。愛について考察するとき、まず初めにこの非常に重要な美德を思い浮かべる人はほとんどいない。しかしこの定式には、献身的な父もしくは母という、共通の例外が存在する。乳幼児や幼い子どもの抱えるさまざまな必要が、よい親の忍耐力を発達させる。彼らは自身の抱える必要は脇へ押しやり、自分の子に目を注いで、子どもの要求を優しく丁寧に満たし、世話をするのである。

わたしに従う者たちには、互いへの愛情に、たっぷりの忍耐を織り交せてほしいと願っている。忍耐/寛容という美德は御霊の実リストでは四番目に挙げられている。ゆえに、この

詩篇 147:11

主を恐れる者と御恵みを待ち望む者とを【主】は好まれる。